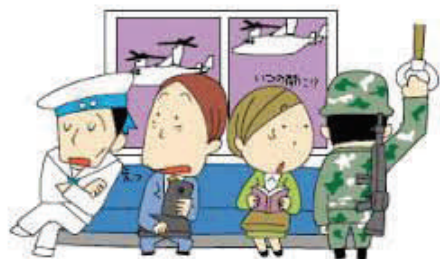


# 戦争法廃止のためのワンランク上の学習会

## 戦争法のもとになる日米ガイドラインを検証



### 危険な日米ガイドライン

日本がアメリカの戦争に巻き込まれることは必至

とき:2015年11月14日(土)13時30分~

ところ:勤労者福祉センター4階第1会議室

講師:中尾元重氏

テーマ:アメリカの要求する日本の軍事的役割

主催:安保条約破棄諸要求貫徹岡山県実行委員会

連絡先:岡山県労働組合会議

電話:086-221-0133

日米ガイドラインの改定によって、日米同盟は格段に強化されました。「日米両政府は、情報共有を強化し、切れ目のない、実効的な、すべての関係機関を含む政府全体にわたって同盟内の調整を確保するため、あらゆる経路を活用する」としています。

その目的のために、「日米両政府は、新たな、平時から利用可能な同盟調整メカニズムを設置し、運用面の調整を強化し、共同計画の策定を強化する」と、日米軍事同盟の強化と同時に共同作戦推進を謳っています。

さらに問題なのは、「日米両政府は、日本の平和及び安全に影響を与える状況その他の同盟としての対応を必要とする可能性があるあらゆる状況に切れ目のない形で実効的に対処するため、同盟調整メカニズムを活用する」として、同盟の強化だけでなく、双方の軍事力や機能を調整する機関を設置しようとしていることです。これによって、自衛隊とアメリカ軍は一体化して、政策面や運用面だけでなく、その強化が一体的にすすめられます。日米はこうした軍事力を「決定的な中核能力」として重要視するだけでなく、今後はこの方針にそって、共同作戦計画を戦争法成立に道を開いたと言えます。